



(1) 歩道及片側道完成後残部の盛土作業。

尻無川北岸線道路鋪装工事

大阪市技師 森 起虎

尻無川筋は大正8~9年度に亘り大阪府に於てO.P.上2.70米に護岸工事を施行したものであるが、西大阪方面は地盤が年々沈下して1ヶ年數回の高潮は、正蓮寺川及び安治川沿岸と共にこの川の沿岸をも襲ひ、殊に昭和9年9月の關西一帯の風水害によつて廣範囲の浸水を蒙り、不衛生は云ふに及ばず、損害又莫大なるものあり、また護岸の沈下と交通量の激増に伴つて路面の損傷が著しいので、茲に道路の中心に於て之をO.P.上2.80米に嵩上し常時の高潮を防ぐと共に路面の鋪装工事を施工することとなつたのである。

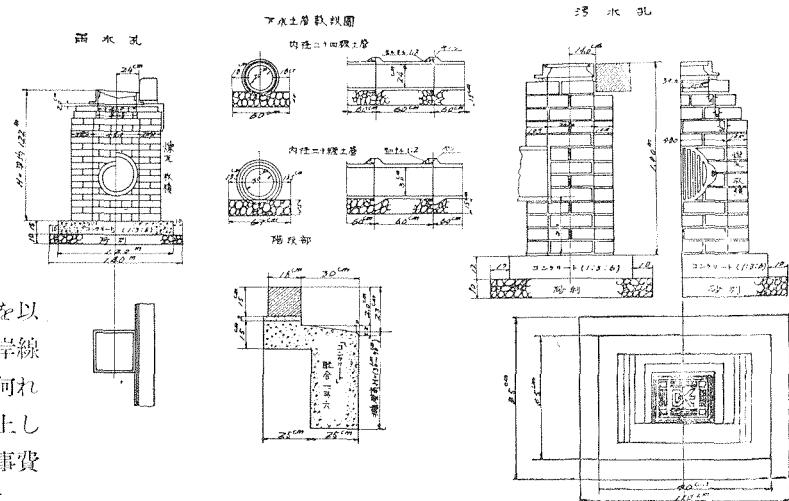
本工事施設行前に於ける道路の平均高は約2.50米で、全線に亘つて30~40種を嵩上し、鋪装工事を施すものであるが、車道は幅員11.6米で基礎コンクリート厚12種を施行した上にシートアスファルト4種を鋪設し、又歩道は幅員2.95米で厚8種のコンクリート鋪装である。鋪装面積は車道が14,600平方米、歩道が3,300平方米であり、施工は凡て大林組の請負で、總工費約6萬圓を要した。

尙本工事と同じ目的を以て、本路線の外、正蓮寺川南岸線、同北岸線、安治川南岸線、南及北境川通線はシートアスファルト及びセ



(2) 車道基礎コンクリート敷均作業・コンクリート・ミキサーはコンクリート作業1日分後退し、コンクリートは運搬車にて運搬する。

(4) 尻無川北岸線





(3) 車道基礎コンクリートを打終り養生中の状況、右方は完成した部分。

道路標準断面図。

